

令和元年5月30日 変更版

- ・ 本文P1頁8行目の「土木監理」削除しました。
- ・ 本文P2頁5(10)を修正しました。

令和元・2年度
建設コンサルタント等業務希望調査実施要領
【工事監理】

令和元年5月

独立行政法人都市再生機構
東日本賃貸住宅本部
(北海道地区)

目 次

1 令和元・2年度建設コンサルタント等業務希望調査について【工事監理】

P. 1

2 **別紙1**調査対象業務区分表

P. 4

3 建設コンサルタント等業務希望調査の作成要領、調査票の様式及び記入例（職種別）

・保全建築工事監理 (**別紙2(建築)**)、**(様式1(建築))**

P. 5

令和元・2年度建設コンサルタント等業務希望調査について 【工事監理】

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 北海道地区における令和元・2年度建設コンサルタント等業務希望調査を次のとおり実施します。

なお、本掲示は「III. 工事監理」を対象としております。

本調査は、次回の定期受付による建設コンサルタント等業務希望調査の実施までの間（最大2か年分）の指名の基礎資料とします。

また、保全工事監理（各職種）における調査は、住宅管理センター（株式会社URコミュニティ 住まいセンター）での指名の基礎資料としても採用いたします。

※ 「工事監理」とは、測量・土質調査・建設コンサルタント等業務競争参加資格の業種区分のうち、「建築監理」をいいます。

1 調査対象業務区分等

- (1) 令和元年7月16日（火）以降、指名競争入札により発注が見込まれる建設コンサルタント等業務に係る業務区分（別紙1）を対象とします。
- (2) 調査は建設コンサルタント等業務希望調査資料（以下「調査資料」という。）の受付により行います。

2 調査資料の提出要件

- (1) 当機構東日本地区における平成31・32年度の測量・土質調査・建設コンサルタント等業務に係る一般競争（指名競争）参加資格を有している者であり、業種区分「建築監理」又は「土木監理」の認定を受けている者であること。

なお、平成31・32年度の測量・土質調査・建設コンサルタント等業務競争参加資格の認定を受けていない者についても、随時登録申請を併せて行うことにより調査資料の提出を認めますが、当該資料受付区分に必要な認定が受けられなかった場合には、提出された調査された調査資料は無効とします。

- (2) 業務区分ごとに別紙1「令和元・2年度調査対象業務区分表」に定める「地理的条件」及び「技術的適性」の要件を満たしていること。

3 調査資料の作成要領の交付

- (1) 交付開始日：令和元年5月27日（月）
- (2) 交付方法：当機構ホームページからのダウンロードによる。（本資料）

4 調査資料の受付方法

調査資料は、別紙2「建設コンサルタント等業務希望調査資料の作成要領」に従って作成し、提出してください。なお、別紙2は業務区分により異なります。

(1) 定期受付

- ① 受付方法：簡易書留による郵送 ※持ち込み及び配送業者による提出は不可
- ② 受付期間：令和元年6月3日（月）から令和元年6月14日（金）まで（必着）

(3) 送付場所 : 〒163-1382

東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー17階

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 技術監理部工務課（建築）

(2) 追加受付（随時）

①受付方法：簡易書留による郵送 ※持ち込み及び配送業者による提出は不可

②受付期間：令和元年7月16日（火）から令和3年3月31日（水）まで（必着）

③送付場所：上記(1)(3)と同じ。

(3) 調査資料に関するヒアリング等

業務実績の確認等のため、後日ヒアリング等を行うことがあります。

(4) 調査資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担といたします。

5 その他

(1) 本調査は、次回の定期受付による建設コンサルタント等業務希望調査の実施までの建設コンサルタント等業務請負契約に係る競争参加者の指名の基礎資料とするために行うものであり、調査資料提出者への指名を約束又は予定するものではありません。

(2) 今回調査の追加受付については、令和元年7月から随時で行う予定としています。詳細については、改めて掲示等でお知らせします。

(3) 調査対象業務区分によっては、建設コンサルタント等業務の発注が無い場合があります。

(4) 会社更生法又は民事再生法の手続を申し立てている者も調査資料を提出できますが、競争参加資格に係る再審査で認定されるまでは、基礎資料としません。

(5) 営業停止中又は指名停止中の者も調査資料を提出できますが、当該停止期間中は基礎資料としません。

(6) 提出された調査資料に虚偽の記載がある場合は、当該資料を無効とし、指名停止措置要領に基づく指名停止措置を行うことがあります。

なお、虚偽の記載により調査資料を提出し、受注した建設コンサルタント等業務がある場合には、当該建設コンサルタント等業務は実績として認めません。

(7) 提出された調査資料は返却しません。ただし、受付後、調査非対象者と判明した場合は、その旨を通知し、資料を返却します。

(8) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）の施行により、当機構が取得した文書（例：建設コンサルタント等業務希望調査提出資料など）は、開示請求者（例：会社、個人など「法人・個人」を問わない。）から請求があった場合には、当該法人、団体及び個人の権利や競争上の地位等を害するおそれがないものについては、開示対象文書となります。

(9) 暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者は、調査資料を提出できません。

(10) 業務成績の著しく低い者の取扱い

選定された業者のうち、機構が定めるところにより評価された業務成績（以下「業務成績」という。）において60点未満の業務成績の通知を受けた者については、当該業務成績の通知日から起算して1年を経過する日までの間、指名しない。

以上

【本掲示に関する問い合わせ先】

業務区分	問い合わせ先
保全建築工事監理	独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 技術監理部 工務課（建築） TEL：03-5323-2903

令和元・2年度調査対象業務区分表 北海道地区

III. 工事監理

業種区分	業務区分	業務内容	参考 平成 30 年度 発注実績	機構の定める要件	
				地理的条件	技術的適性
建築監理	保全建築工事監理	居住中の共同住宅における外壁修繕（部分補修を除く）、耐震改修工事（スリット設置等簡易なものを除く）、エレベーター設置又は増設工事、その他住棟改修工事係る工事監理	1 件	本店又は最寄りの支店・営業所が札幌市、石狩市、江別市、北広島市、函館市のいずれかに所在する者であること。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一級建築士の有資格者を 1 名以上有する者であること。 2. 機構又は公的機関から過去 10 年（平成 21 年度以降）に対象業務と同種の元請としての実績が 1 件以上あること。 3. 当機構における平成 31・32 年度一般競争参加資格（建設工事）の登録がないこと。（補足事項（入札時の参加要件）） <ul style="list-style-type: none"> ・ 一級建築士取得後 5 年以上の実務経験を有し、業務の統括管理を 5 年以上継続している者を管理技術者とし配置できること。

※ 1 共同住宅とは、RC 造又は SRC 造の共同住宅をいう。

※ 2 工事を受注した業者と資本若しくは人事面で関係がある者（※ 3）は業務を受注することができない。

※ 3 資本若しくは人事面で関係がある者とは、次の①又は②に該当するものをいう。

①当該受託者の発行済株式総数の 100 分の 50 を超える株式を有し、又はその出資の総額の 100 分の 50 を超える出資をしている建設業者

②建設業者の代表権を有する役員が当該受託者の代表権を有する役員を兼ねている場合における当該建設業者

※ 4 機構支援業務（工事監督業務（総主任））受注者は当該地区における工事監督業務を行う者と工事監理者は異なる担当技術者とすること。

※ 5 個別選定方式による競争入札を除く。

※ 6 一級建築士の有資格者数は、一般競争（指名競争）参加資格審査申請書「21 有資格者数」において申請した人数が当該人数を満足していること。

建設コンサルタント等業務希望調査資料の作成要領

【対象業務】

業種区分：	建築監理
業務区分：	保全建築工事監理

建設コンサルタント等業務希望調査資料（以下「調査資料」という。）については、当機構における事業見込みを基に、「平成31・32年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務競争参加資格」の認定を受けた者から、建設コンサルタント等業務希望を調査するもので、以下の点に留意し、作成してください。

なお、地理的条件及び技術的適性等については、別紙1「令和元・2年度調査対象業務区分表」により定める条件をよく確認したうえで資料を作成してください。

1 調査資料の提出について

(1) 調査資料の提出は、郵送のみとしています。受付期間内に、簡易書留による郵送にて下記送付場所まで郵送してください。なお、持ち込み及び配送業者による提出は受け付けしません。

(送付場所) 〒163-1382

東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー17階

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部

技術監理部工務課（建築）

TEL：03-5323-2903

(2) 調査票は、様式1（建築）により作成してください。

(3) 調査資料は下記6「調査資料のセット方法」によりセットのうえ、提出してください。

(4) 調査資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とします。

2 建設コンサルタント等業務希望区分について

(1) 希望する業務区分について、別紙1に基づき記入してください。

3 本店、支店及び営業所等所在地について

希望する業務区分に対応する地理的条件に定める条件を満たす本店、支店及び営業所等（以下「本店等」という。）が複数ある場合は、当該本店等のうち、いずれか1つを記入してください。

4 技術者の配置状況等について

(1) 区分表に定めた必要な資格要件を満たす者の総数を記入してください。

(2) 区分表に定めた必要人数分の資格者証及び恒常的雇用証明書を添付してください。なお、恒常的雇用証明書とは、当該技術者が本調査の申込者と3ヶ月以上の雇用関係があることを証明できるものであり、健康保険証、雇用保険証または在籍証明書等をいいます。

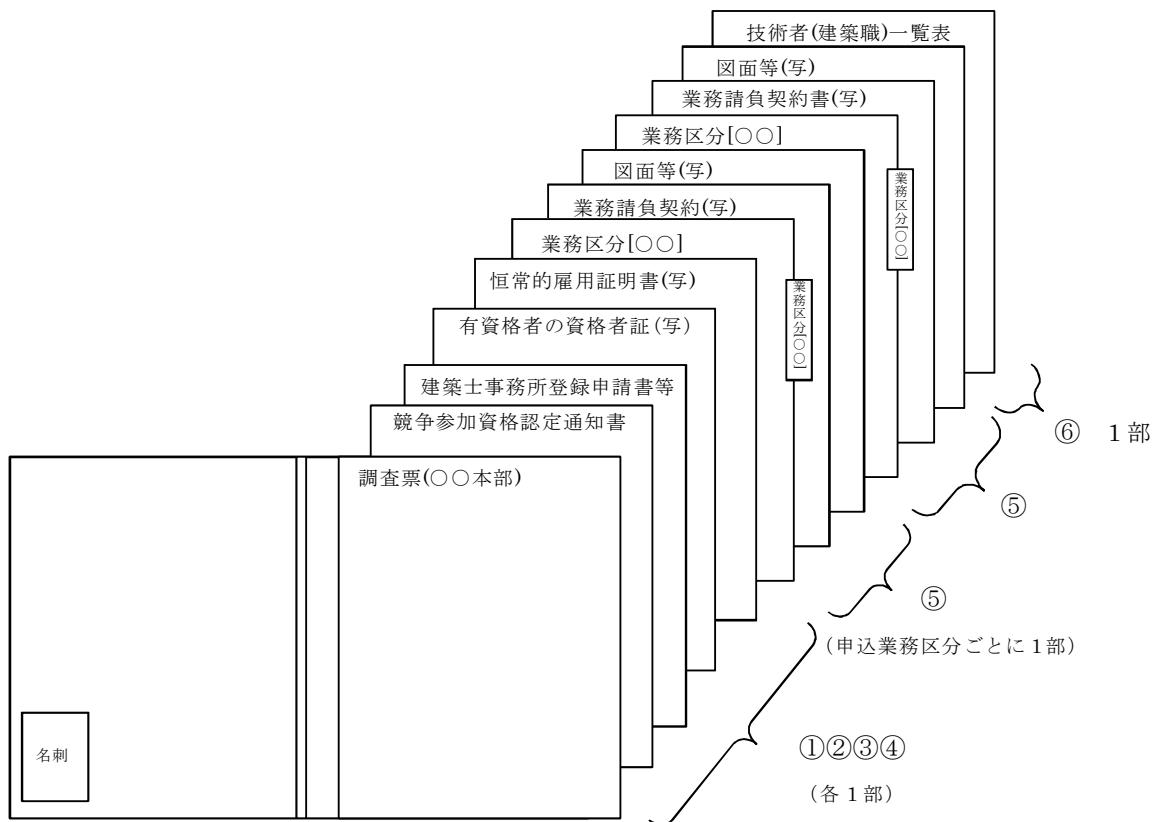
5 過去10年における実績について

- (1) 技術的適性に定める要件を満たす実績を対象として記入してください。
- (2) 実績は、調査資料の提出日の属する年度の前年度末までに完了している建設コンサルタント等業務が対象となります。個別業務の規模等により相応の実績の有無を確認して指名の基礎資料とするため、(1)の区分で複数の実績がある場合は、求められる実績について金額の高いものを記入してください。（共同企業体としての実績は、出資比率が20%以上の場合に限ります。）
- (3) 実績に記入した建設コンサルタント等業務については、元請としての実績であることが証明できる書類（例：業務請負契約書の表紙（鑑）等）の写しを添付してください。（契約書の表紙だけでは証明できない場合は、適宜資料を追加してください。）
なお、当機構住まいセンターの管理業務受託者から受注した建設コンサルタント等業務は、当機構からの受注業務とみなします。
- (4) 過去10年とは、調査資料の提出日の属する年度の前年度から過去15（10）年度分とします。
 【定期受付（2年ごと）】平成21年4月1日から平成31年3月31日までに完了
 【追加受付（随時）】
 - ・令和元年度中の受付：平成21年4月1日から平成31年3月31日までに完了
 - ・令和2年度中の受付：平成22年4月1日から令和2年3月31日までに完了
- (5) その他、技術的適性欄に記載されている内容について、証明できる資料を添付してください。
- (6) 添付資料等に関して、原本の提示や資料の追加を求めることができます。

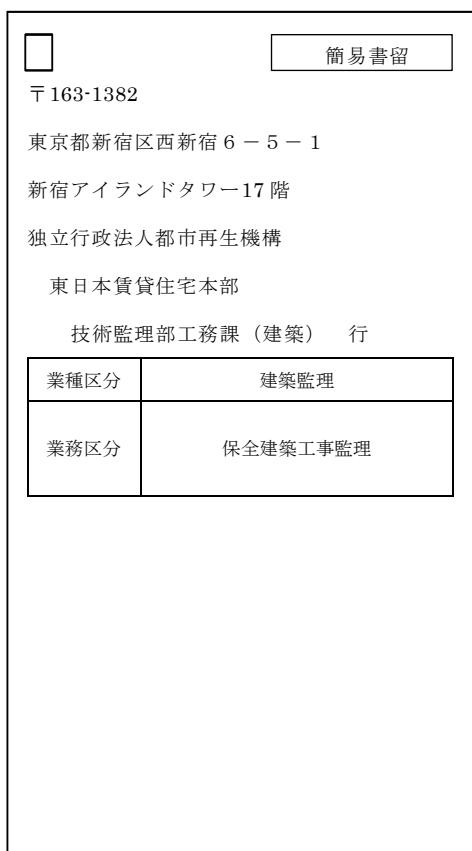
6 調査資料のセット方法

- (1) 以下の資料を①から⑤の順に綴じてください。
 - ① 調査票（様式1（建築））… 1部（複数地区に希望する場合も1部でよい）
 - ② 調査資料提出時の年度の競争参加資格認定通知書… 1部
 - ③ 事務所の所在地が確認できるもの（建築士事務所登録申請書等）… 1部
 - ④ 資格者証等… 1部（資格者証（必要人数分）、恒常的雇用証明書（3か月以上））
 - ⑤ 業務実績… 申込業務区分ごとに1部
 - ・業務請負契約書（写し）
 - ・業務対象工事の建物構造や工事概要がわかる資料（図面等）
 - ⑥ 技術者（建築職）一覧表（様式2（建築））… 1部
- (2) A4版ファイル（左側2穴）に綴じ、表紙及び背表紙に資料名称（建設コンサルタント等業務希望調査資料）及び会社名を記入してください。
- (3) 提出書類は、原則A4版とします。判別が困難なようであれば、A3版（A4サイズにZ折綴込み）としてください。なお、A3版でも必要事項が判別できないような場合は、全体図の他に確認できる部分を拡大コピー等した図面を添付してください。
- (4) ファイルの表紙裏に名刺を添付してください。
- (5) 封筒には申込業種区分及び業務区分を明記してください。

【資料のセット方法】



【封筒のセット方法】



業種区分【建築監理（建築）】に係る調査票

令和 年 月 日

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部

本部長 田島 満信 殿

この調査資料及び添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

商号又は名称	印
記入者氏名	
連絡先	
登録番号	

1 建設コンサルタント等業務希望区分

保全建築工事監理

2 本店、支店及び営業所等所在地

営業所等 名 称		郵便番号		所在地	
		電話番号			

※営業所等の所在地については提出時に建築士事務所登録申請書等の写しを添付してください。

3 技術者の配置状況

資 格	一級建築士
総 数	名

※ 必要人数分の資格者証の写しと恒常的雇用証明書（3か月以上の雇用関係を証明できるもので、健康保険証、雇用保険証または在籍証明書等）を添付してください。

4 過去における実績

業務区分	履行場所	業務名称	発注機関	業務概要	請負金額 (百万円)	工期

5 当機構における平成 31・32 年度一般競争参加資格（建設工事）の登録の有無

登録の有無	有 · 無
-------	-------

(記入例)

業種区分【建築監理(建築)】に係る調査票

令和〇年〇月〇日

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部

本部長 田島 満信 殿

提出日を記入

この調査資料及び添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

商号又は名称	○○設計事務所 印
記入者氏名	機構 太郎
連絡先	03-0000-0000
登録番号	000000

事務所の名称、担当者の連絡先等を記入

1 建設コンサルタント等業務希望区分

保全建築工事監理

他の業務区分がないため、このままでよい

2 本店、支店及び営業所等所在地

営業所等 名 称	札幌支社	郵便番号 電話番号	123-4567 00-0000-0000	所在地	北海道札幌市○○-○○	F A X番号 00-0000-0001
-------------	------	--------------	--------------------------	-----	-------------	-------------------------

※営業所等の所在地については提出時に建築士事務所登録申請書等の写しを添付してください。

3 技術者の配置状況

資 格	一級建築士
総 数	3

地理的条件に定める条件を満たす
本店等が複数ある場合は、いずれか
1つを記入

※必要人數分の資格者証の写しと恒常的雇用証明書（3か月以上の雇用関係を証明できるもので、健康保険証、雇用保険証または在籍証明書等）を添付してください。

4 過去における実績

業務区分	履行場所	業務名称	発注機関	業務概要	請負金額 (百万円)	工期
保全建築工事監理	札幌市	○○団地外壁修繕工事監督 業務	都市機構	RC造5階建5棟 200戸	3	H23.4～ H23.8

5 当機構における平成31・32年度一般競争参加資格（建設工事）の登録の有無

登録の有無 有・無

実績は1件のみ記載すること
複数の実績がある場合は金額の高い実績を優先して記入

所属技術者（建築職）一覧表

令和 年 月 日

商号又は名称	印
記入者氏名	
連絡先	
登録番号	

所属する技術者（建築職）一覧は下記のとおりです。

No.	氏名	年齢	建設業に係る 経験年数	資格登録等	過去に監督業務を行った保全工事件名
1					
2					
3					
4					
5					
6					

記入例

所属技術者（建築職）一覧表

提出日を記入

令和〇年〇月〇日
株式会社〇〇事務所

所属する技術者（建築職）一覧は下記のとおりです。

No.	氏名	年齢	建設業に係る 経験年数	資格登録等	過去に監督業務を行った保全工事件名
1	受注 一郎	58	36	一級建築士	〇〇団地外壁修繕その他工事 (平成 22 年度完了)
2	受注 二郎	55	37	一級建築士	□□団地耐震改修その他工事 (平成 23 年度完了)
3	受注 三郎	41	17	〇〇大学建築科 (昭和〇年卒業)	△△団地他 1 団地外壁修繕その他工事 (平成 25 年度完了)
4					
5					
6					

行は適宜
追加する

技術的適正に定める要件を満たす、満たさないに関わらず全ての技術者（建築職）を記載。

過去の実績を記載。
 ※保全工事に関して最新の実績 1 件のみでよい。新築工事の実績は不要。
 ※過去 10 年になければ、10 年以上前の実績を記載する。